

2019年10月21日(月) 13:00-17:40
大阪大学センテラス3階 センテラスサロン



シンポジウム
申し込み

お名前、ご所属を記載の上で、下記のメール
アドレスまで、連絡ください。
定員50名になりしだい受付を終了します。
sympo@coire.eng.osaka-u.ac.jp



公開 日台里山シンポジウム(日臺里山論壇)

日本と台湾の 里山文化と自然

— 自然と人の共生関係の 持続に向けて —

山村集落の人々は里山から薪や炭を得て日々の燃料とし、木々を利用して家を造り、時には猪などの獣を捕ってご馳走にしていました。里山を丁寧に耕し、米や稗粟、野菜を培っていました。人々は里山の恵みに感謝し、維持管理をしていました。その管理によって、人と野生の生物が共存する生活圏が形成されています。その生活圏では野生の自然界と同様に、多様性の高い生態系が形成され、人々は豊かな文化を構築し、自然と人の共生関係が維持されています。

しかし、都市の拡大による人口吸収は山村集落の人口を減少させ、高齢化を誘導しています。さらに、薪や炭から化石燃料への転換などの生活スタイルの変容も加わって、里山の管理と山村の文化の維持が困難になっています。

台湾も日本と同様、同じモンスーン地帯に属していて、水田耕作が盛んです。山の集落では山が維持管理され、自然と人の共生関係が形成されています。しかし、台湾でも急激な経済成長と都市化が進展していますので、自然と人の共生関係の崩壊が危惧されています。

一方、日本でも台湾でもグリーンツーリズムやボランティア活動によって、多くの人々が里山の生活圏で自然と人の共生関係を体感しています。私たちは里山の維持に向けて、何をしなければならぬかを考えるために、里山の教育研究に実績のある台湾の国立屏東科技大学社区林業中心(コミュニティ林業センター)と大阪大学工学研究科附属オープンイノベーション教育研究センターが連携してシンポジウムを開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

◆主催：  COiRE

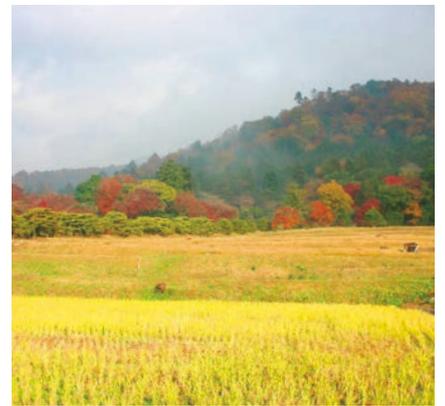
大阪大学工学研究科
オープンイノベーション
教育研究センター



台湾国立屏東科技大学
農學院社区林業中心

◆共催： 日台里山交流会議
大阪大学 CO デザインセンター

- 13:00 開会あいさつ 林 高史 (大阪大学工学研究科教授 COiRE センター長)
- 講演**
- 13:10 第一部 — 教育 — まちづくり・地域おこしと里山
- 14:10 「台湾における里山教育」
陳 美恵 (屏東科技大学教授)
- 「山村での課題解決型教育」
上須道徳 (大阪大学 CO デザインセンター特任准教授)
- 14:10 第二部 — 研究 — まちづくり・地域おこしと里山
- 15:25 「里山を活用したコミュニティビジネスが直面する法的規制の壁 ~台南市東山区を例に」
王 毓正 (成功大学副教授・法律系)
- 「フューチャー・デザインによるまちづくり」
原 圭史郎 (大阪大学工学研究科准教授・COiRE 部門長)
- 「里山ランキングを促進する台湾の考え方」
游 麗方 (大漢技術学院副教授・観光系)
- 15:30 第三部 — 実践 — まちづくり・地域おこしと里山
- 16:30 「TPSI を活用して国土グリーンネットワークを形成」
(Taiwan Partnership for the Satoyama Initiative,TPSI)
邱 立文 (台湾林務局事務局長)
- 「台湾における里山活動事例紹介」
台湾の NPO 又は行政関係者
- 「のせでん沿線の里山を活用したまちづくり」
大森淳平 (有限会社 OM 環境計画研究所代表)
- 16:30 **パネルディスカッション**
- 17:20 **地域と大学の交流について**
- モデレーター 栗本修滋 (大阪大学工学研究科特任教授)
上須道徳、陳 美恵、中村伸之 (日台里山交流会議代表)
游 麗方
- 17:20 連携あいさつ 陳 美恵
- 17:30 閉会あいさつ 中村伸之



大阪大学
吹田キャンパス

センテラス3階
センテラスサロン

